

天台佛青連



発行人／高倉聖法
編集／天台仏教青年連盟 布教広報委員会
発行所／〒309-1451 茨城県桜川市西小嶋 1677 月山寺内
印刷所／〒960-2101 福島県福島市さくら三丁目 2-7 福島カラー印刷株式会社
郵便振替／天台仏教青年連盟 02250-5-6765

題字／第256世天台座主大僧正
半田孝淳 祝下 御染筆

平成24年
2月発行号

index

代表挨拶	1
天台宗宗務総長「ごあいさつ」	2
延暦寺執行「ごあいさつ」	2
九州結集開催報告	3
連盟主催合同ボランティア活動	4
教区仏青活動レポート	
陸奥仏青	5
山形仏青	5
福島仏青	6
茨城仏青	6
本山仏青	7
兵庫仏青	7

特集

東日本大震災
各教区復興支援活動・・・ 8～9



義援金報告	10
奈良千僧法要	10
平成23年度天台仏教青年中央研修会	11
第46回天台青少年 比叡山の集い	11
インフォメーション	12
協賛金協力者ご芳名	13～15
平成23年度常任委員会委員長報告	16

実践仏教

天台仏教青年連盟代表

高倉聖法



天台仏教青年連盟の会報発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。

先ずは昨年三月十一日に起こりました東日本大震災にて被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をご祈念申し上げます。

さて、日頃より一宗をはじめ延暦寺一山、全国の天台宗寺

院、各教区仏青会員の皆様には、私ども天台仏教青年連盟の活動に対しまして格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。特に昨年は東日本大震災復興支援ボランティア活動に對しまして、一宗より多大なるご支援ご配慮を賜り活動の大きな励みとなっております。

昨年四月十九日に新体制となり様々な行事や東日本の復興支援等の活動に取り組んで参りました。五月十一日の宮城県気仙沼観音寺様においての天台座主祝下御親修「東日本大震災犠牲者慰霊及び復興祈願法要」では多数の諸大徳様と共に随喜させて頂く機会を得ました。

六月二十九日～三十日に行いました全国大会九州結集では延暦寺執行武覚超様より『伝教大

師と「九州の宝塔」天台法華の宝塔」と題してご講演頂き、伝教大師様の「志」に少しでも近づき道心ある菩薩僧となるべく精進を積む決意を新たに致しました。また、法華経納経及び東日本大震災復興祈願法要は多くの会員の随喜の下執り行い、会員各位の復興への思いや法華経に對する信仰の厚さを強く感じ、何か熱いものがこみ上げて参りました。

十月十七日～十八日の連盟主催の合同ボランティア活動には、全国より延べ八十名を超える会員の参加を頂き、被災された民家の清掃活動を行いました。皆が全力で力を合わせ活動している姿は菩薩を見る思いで、またこのような活動が出来ればと考えております。

十一月二十九日～三十日の天台仏青中央研修会では「災害時のこころのケア」、「東日本大震災復興救援支援活動」のテーマでご講義頂き、現地での活動の方法や心のケアについて学び、今後の我々のスキルアップを考えさせられました。

昨年は東日本大震災より立て続けに日本を災害が襲いその影響が未だに続いています。復興に向けて私達若い僧侶がいかに向き合い活動していかなければならないかを真剣に考えると同時に、その活動が僧侶としての修行にも通ずると確信し、今後も東日本の復興支援、連盟活動に全力で邁進して参ります。どうぞ皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。



九州結集

天台仏教青年連盟全国大会

去る平成二十三年六月二十九日、三十日、仏青連盟全国大会「九州結集」が福岡市ヒルトンシーホークホテルにて開催されました。九州東西仏青が担当致しまして国内最西端の開催ではございましたが、お陰さまをもちまして総勢二百名を超える参加者にお集まり頂き盛大に開催することが出来ました。

特に今回の結集にしましては、三月十一日に発生した東日本大震災の被害の甚大さを考えるに、この時期に全国規模の研修会を開くのが妥当であるのか大変悩みましたが、この重大な危機に直面した今でこそ取り組みの内容をと再考を重ね、これまでの研修と懇親といった結集から一歩踏み込んで意義深い大会にしようというスタッフ全員でぎりぎりまで知恵を絞りだして開催に漕ぎ着けました。その中で、被災教区仏青による現実を伝える声やボランティア参加者の現地での活動状況を聞く事

で、今回の災害の実状を改めて痛感するとともに、以前から掲げておりましたテーマであり、私たちが復興支援の指針ともすべき宗祖大師のお志を一人ひとりが強く心に刻んで被災地域への更なる支援を参加者全員で確認することができました。

また記念講演では、延暦寺執行武覚超師を講師に仰ぎ、我ら宗徒の根本経典であります法華経についてその内容と現代における必要性を丁寧にご教授頂きました。



九州西仏青

一番ヶ瀬順海



二日目には大師のご遺跡である宝満山六所宝塔へ会場を移し、天台宗参務村上社会部長を始め約百名の御随喜の見守る中、高倉連盟代表導師のもと東日本大震災復興祈願法要を厳修致しました。そして結集開催にあたり教区内と全国仏青にご協力をお願いして作上げた法華経写経を、震災からの早期復興を

祈願して、被災教区三仏青の代表出仕者の手によって厳かに納められました。

この度の結集開催に於いては慎重な意見も多数頂きましたが、無事円成致しました事を大変うれしく思います。並びにご協賛賜りました関係各位様方にご場を持ちまして心より御礼申し上げます。

合掌



ごあいさつ

天台宗宗務総長

阿 純孝

しております。

今後の天台宗を考えますとき、誠に心強く、励まされる思いがいたします。

私は、よく現代に伝教大師様がおられましたら、どのようにお考えになり、行動されるだろうかということを思います。その意味では、皆さまのご活躍は、大師のみに叶うものでありましょう。

混迷する現代に必要なことは慈悲心であることは間違いありません。

天台宗仏教青年会様の、益々のご活躍を念じてやみません。



天台仏教青年連盟の皆様におかれましては、平成二十二年は創立四十周年という節目の歳を迎えられ、積極的な活動や行事への取り組みを展開しておられますこと誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

特に昨年三月十一日に発生いたしました東日本大震災への対応については、率先して托鉢、救済物資の輸送、現地での諸ボランティア活動などに鋭意挺身されておられることには心からの敬意を表すものであります。

宗祖伝教大師によって比叡山に開かれた天台宗の教えは、誠に広大かつ深淵であり、日本仏教の母山と仰がれるように、一千二百年余の歴史の中で、多くの祖師高僧方を輩出し、時代相応の多種多様な信仰や思想、文化を育んで参りました。

仏青の皆様も常に高祖天台大

ごあいさつ

延暦寺執行

武 覚超

師や宗祖伝教大師を始めとする天台仏教に関する修学修行を忘れず、また同時に、その天台の素晴らしい教えを、困難ともいえるこの震災からの復興にどのように生かせるのか、さらには広く世界平和に貢献できるのかを考え、積極的に活動を展開していただくことをお願いいたします。

今後ますますの仏青連盟のご発展と会員の皆様のご研鑽ご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶いたします。



法衣・襦袢・袈裟・仏具・荘厳品 贈答記念品・授与品 株式会社鈴木法衣店 東京店 〒110-0015 東京都台東区東上野4丁目8番8号 TEL 0120(55)0369 FAX 0120(44)7560 埼玉営業所 〒345-0047 埼玉県熊谷市伊勢町東野台第1丁目15-7 TEL 0120(66)0369 FAX 0120(66)5966 ホームページ http://www.suzubhouten.jp	各宗本山御用達 各宗珠数製造販売 お珠数専門の老舗 か小野珠数店 〒604-8015 京都市中京区寺町通蛸薬師下ル 電話 〇七五(二二)二六〇八 FAX 〇七五(二五六)三二八八	仏像の彫刻と修復 無料お見積り致します みやこ仏像 埼玉県新座市野火止6-8-3-417 TEL048-481-7133
---	---	--

東日本大震災

連盟主催合同ボランティア活動に参加して

十月十七日、十八日にかけて、仏青連盟主催によるボランティア活動が開催されました。活動場所は仙台市から車で一時、間程の宮城県亘理郡山元町で、各教区から参加された約六十名により、被災した家屋での家財道具及び泥の運び出し等を行いました。

今回の活動は山元町の普門寺様にある「おてらボランティアセンター」を通じ、山形仏青様



がコーディネイトをして下さいました。その普門寺様に集合した後、二班に分かれてそれぞれの作業現場に向いました。現場での作業はまずゴミの種分けから始まります。津波により一階部分は泥に埋もれており、壊れた家財道具やゴミが混在しています。それらを紙・プラスチック・ガラス等に種分けしながら集めます。ゴミを取り除いた後、泥を土嚢袋に詰めて外へ運

び出します。山元町は堤防決壊の恐れから八月まで立ち入り禁止区域になっていた為、作業をした家のすぐ横にも同じ様に泥に埋もれた家があります。山元町にある全ての家屋で作業が終わるのはいつになるのだろうか考えると、その労力と時間の膨大さに途方に暮れるような思いを致しました。

一方で、今回の様な大海戦術による作業の大切さといったものも痛感致しました。私は作業中にヒガラという小鳥の鳥獣許可証を見つけました。その鳥獣許可証はもう二十数年前のもので失効していましたが、せっかく出てきたものだからと保管しておくとのことでした。他にも写真や手紙など、当家の方にとってかけがえのない思い出の品がたくさん見つかります。三十人がかりで一日に一軒しかこなせない作業ですが、被災された方々に寄り添った方法なのだと

岡山仏青

森川

岳亮

うと思いました。

今回の活動で作業が出来たのはたったの二軒です。被災地にはまだまだ支援の手が足りていません。ボランティアを始めとした各々が出来るそれぞれの活動を、引き続き継続していくことが必要だということを、改めて実感致しました。

今回の活動を主催・企画をして下さいました仏青連盟の皆様、山形仏青様、現地で尽力されておられるおてらボランティアセンターの関係の皆様、こういった機会を与えて頂きました事を感謝致します。また各教区より参加された諸仏青会員の皆様、大変お疲れ様でした。



教区仏青活動レポート

奥
陸
仏
青

天台僧として、一人の人間として

破石 晋照

未

曾有と形容された東日本大震災の発生から一年が過ぎようとしています。この一年間、天台僧として、一人の人間として、とるべき行動について考えさせられる毎日でした。

震災直後の不安の中、仏青会員を中心とした若い僧侶の間で気運が高まり、全国の会員の皆様の暖かい御支援の下、支援物資の搬送や現地でのボランティア活動など支援活動に取り組みせて頂き、限界のある中でも一杯の活動をしてまいりました。

震災によって途方も無い瓦礫の山と、多くの悲しみが残された被災地で、全国から助けにな



ろうと遙々足を運ばれた皆様と共に汗を流し、被災者の方々と言葉を交わす日々の中で、沢山の暖かい人の手が、少しずつ広大な被災地に復興への希望の光を灯し始めたことを実感しています。

東北の厳しく、そして長い冬が終わわり、被災地に二度目の春が訪れようとしています。求められる限り、これからもできる限りの支援をさせて頂きたいと思っています。

山形
仏
青

ボランティア活動の発心

暦

の上では春、でも寒さが残る三月十一日、後に東日本大震災と呼ばれる今まで生きてきた中で一番激しく一番長い地震が山形を襲った。どうせすぐ収まるだろうと思って私は買ったばかりのテレビを押さえ甘くみていた。しかし、それはテレビなんかどうでもいいと思わせるほど揺れ、寺はギシギシと悲鳴を上げた。



これはとんでもないことになる。停電で外からの情報が得られない中、そんな事を思っていた。嫁と子供はプールに行っており、ちょうど入ろうとした所で地震に遭い、プールからあふれる水をみて恐怖を感じ、泣き叫ぶ子供を「大丈夫」と慰めながら家に帰る途中で、帰る宛のない子供のお友達とお母さんに会った。一刻も早く家に帰って家族の身の上を確認し、安心もしたい。それは出会った二人も一緒に二人を見捨てていけない。それで嫁はお寺から逆方向の二人を家まで送り届け、番号も消えて余震の恐怖と戦いながら帰ってきた。

私は「なんで帰ってこないんだ」と心配していた。「なにかあったのか」と。

嫁達は、「己を忘れ他を利用するは慈悲の極みなり」という天台宗の僧侶ならだれでも知っ



伊藤 良順

ているが、なかなか出来ないことをこの状況で実践してくれた。嫁に感謝し、我々僧侶も実践しなくてはならないと思っ

た。

この時の気持ちを忘れることなく山形教区のボランティアは、家族や檀信徒、そして全国の多くの人に支えられてこれからも続けていく。

私 達本山仏青会員は（一般一四名・籠山三名）一山住職として、延暦寺と不二の関係で震災以来、各人各部署において、現在も支援活動に携わっている。

地震発生から二日を経た三月十三日、恒例の比叡山大護摩供は、一時その執行が危ぶまれたが、天台座主猥下御親修にて「震災犠牲者の慰霊と被災地の早期復興祈願」又被災者への義援金を募る法会として奉修された。法要当日は、山内各部署より会員がその設営、運営の為に、西塔峰道伝教大師像の下に集った。法要後の接遇施設等の撤収作業を終えた後、会員は陽が傾き小雪が舞う中、まだ火が残る護摩壇の周囲にて「本山仏青としての支援活動」にあたり、各自が「照千一隅」を旨に支援活動にあたることを誓った。

私達の支援活動は、情報の収集整理と、鉢鉢や支援車の通行許可申請等の官公庁との折衝や、支援物資の集積地の確保等から始まった。私達が震災後

行つて来たことは、善意の橋渡しであつた。門前の方々を始め、様々な方面より物心両面に渡る支援をお預かりした。またお預かりした想いを被災地にお届けするにあたっては、日本中の多くの方々のご協力を頂いた。

自身が被災しているにも拘わらず、情報を発信し、被災地の「二隅」において「忘己利他」を体現し支援活動を行っておられる方々がいる。被災者への直接的な支援は元よりであるが、支援活動を息の長い効果的なものとするためにも、これら現地に通じた方々の支援と、彼らの思いを世に広く訴えることが、偶々直接被災しなかった「二隅」におかれた本山仏青の務めであると考ええる。今後、私達はどのような方々との信頼関係をより強く構築し、微力ではあるが東日本の真の復興を担う「青少年育成」の一助を担いたい。



そして活動の結果、胸に残るのは「一人の痛みを自分の痛みとして感じる」ことの難しさです。報道の扱いが減るにつれて関心は薄れていきます。今も多くの方が様々な痛みを抱えて過ごす現実の中、被災経験を持つ兵庫の人でもそれは難しいことです。自分自身の経験上、最後に必要なのはやはり自分の力、自立だと思いますが、それができるまでもう少しの間、東北の方々の痛みを兵庫の人達に伝え、また何より自分自身、感じながら寄り添っていきたいです。

天台宗務庁御特命 三諦章製装専織所 森忠法衣店 五代目 森 忠 兵衛 〒604-0842 京都市中京区御小路通烏丸南入 電 話 075-231-1203番 FAX 075-255-7020番	子 兵衛商店 〒600-8334 京都市下京区油小路通六条南入 電 話 (075) 351-1367 FAX (075) 351-1476	香 松榮堂 創業宝永二年 寄老舖 松榮堂 京都市中京区烏丸通二条より東側 TEL 075-212-5500 FAX 075-212-5505 www.shoyei-do.co.jp
--	--	--

教区仏青活動レポート

福島 仏青

復興支援ボランティアについて

和田 隆教

福 島県は被災地域であり、福島教区寺院も少なからず被災しました。また、原発事故の放射能の影響もありボランティア参加の是非を問う声もありましたが、三月よりボランティア活動を開始しました。主に土砂・瓦礫の撤去等を行いました。写真洗浄なども行いました。八月下旬からは仮設住宅に於いて傾聴ボランティアを開始し、以後仮設住宅閉鎖までの二年間、週一回行う予定をしております。

福島県における仮設住宅への



入居者は、地震・津波の被害を受けた方々だけではなく、原発による放射能汚染によって避難を余儀なくされた方々も多くおられます。大切な人を亡くした悲しみ、自宅を失った悲しみ、または放射能汚染により自宅に住むことの出来ない悲しみと、二重三重の苦しみで耐え生活しております。このような特殊な環境から、これからは心のケアが重要になってきます。仮設住宅へ入居されている方々の声を聞き、話しをすることで、出来る限り被災者の方々に寄り添う活動を考えております。



茨城 仏青

東日本大震災復興支援

茨城教区宗務所支援物資中継所での活動

真下 俊宜

茨 城教区宗務所では、天台宗務庁の方針のもと、震災直後より四月末迄の約一ヶ月半の期間、全国の天台宗寺院からの支援物資を被災地へ届ける、その中継所としての役割を担いました。

私が所属している茨城仏青もその支援活動のサポートをさせて頂き、毎日数名の会員を宗務所へ派遣し、仕分け作業等を行いました。

発送先は主に、陸奥教区内の



ご寺院でした。現地で受け入れて頂いた、ご住職方のご尽力もあり、各地から届いた支援物資をスムーズに被災者へと届ける事が出来ました。

又、直接被災地へ物資を届けに向かう事もありました。大変な状況を目の当たりにし、避難所へ支援物資の搬入を行った際、被災された方々から、物資の支援に対して、多くのお礼の言葉を頂きました。物資提供にご協力頂きました皆様方に、この場をお借りしてお伝えさせて頂き、茨城教区支援物資中継所での活動報告とさせて頂きます。

光 工 房 各種仏具販売・修復・セラミック (お気軽にご相談ください) 〒370-0850 群馬県高崎市中居町370-5 TEL&FAX 027-388-1098	手のひらから伝わる 素敵なぬくもり	總本山御用達 安田念珠店 本店・重慶市中京区南町六条角 TEL 0750-221-3750(代案) FAX 0750-221-3730 京都駅前・ザ・キューブ店 京都駅前地下街ビル5F http://www.yasuda-neru.com/	天台宗災害補償制度 促進員代表 加納亨一 促進員 大島貴男 高橋 努 秋山 隆司 田原 彦治 草野 秀樹
---	------------------------------	---	--

活動①／5月
場 所／宮城県気仙沼市にて
人 数／1名(兵庫仏青合同)

活動②／7月22日
場 所／仙台市若林区
人 数／5名

活動③／9月8日
場 所／福島県南相馬市
人 数／傾聴ボランティア1名

活動内容／泥かきと慰霊法要



滋賀



信越

活動①／8月21日
場 所／善光寺仁王門
人 数／会員10名ほど
活動内容／托鉢

京都

活動①／11月19日(土)5時半開式
場 所／青蓮院門跡 宸殿
人 数／90名(+当日青蓮院へ来られた一般拝観者)
活動内容／胎蔵界曼荼羅供法要と中国琵琶奏者・葉衛陽氏とのコラボレーション
講師…浄蓮華院住職 多紀頼忍先生
義捐金／31万円



埼玉

活動①／9月14、15日
場 所／宮城県本吉郡南三陸町歌津 石浜地区
人 数／埼玉教区主催で、東京、神奈川、南総、北総、陸奥教区の有志 計34名
活動内容／側溝掘りと瓦礫の撤去

活動②／11月17、18日
場 所／宮城県本吉郡南三陸町歌津 石浜地区
人 数／埼玉教区主催で、神奈川、信越、陸奥教区の有志 計13名
活動内容／側溝掘り、瓦礫の撤去・分別



栃木

活動①／7月14日
場 所／宮城県東松島市
人 数／栃木仏青より3名参加
活動内容／『みんなのとしょかん』設置

活動②／9月5日
場 所／栃木県足利市
人 数／栃木仏青より5名参加
活動内容／『みんなのとしょかん』仕分

活動③／11月6日
場 所／宮城県亶理町および東松島市
人 数／6名
活動内容／主催コンサート(スティールパンバンド『トリニスタ』と紙芝居)



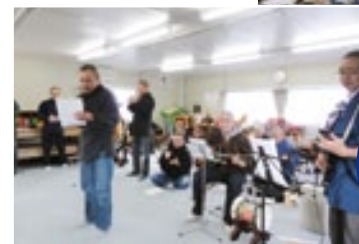
陸奥・栃木・兵庫・茨城
合同ボランティア



活動①／10月26日
場 所／石巻市谷川地区
人 数／22名
活動内容／漁業支援



群馬



活動①／11月21日
場 所／大塩地区仮設住宅グリーンタウン矢本(宮城県東松島市矢本)
人 数／18名
活動内容／仮設住宅集会場での雅楽ボランティアコンサート(参加者80名)並びに群馬仏青にて集めた支援物資、義援金の提供。

神奈川

活動①／5月9日～11日
場 所／気仙沼市ボランティアセンター
人 数／9名
活動内容／ガレキ撤去・泥出し・清掃等。
気仙沼市観音寺にて、座主親下ご導師の慰霊法要に随喜。

活動②／9月13日～15日
場 所／石浜集会所
(宮城県本吉郡南三陸町歌津石浜)
人 数／9名
活動内容／埼玉・東京・北総・南総・陸奥の各仏教青年会会員30名(神奈川含まず)と合同で活動。水路の掘り出し作業及び漁船の撤去作業。

活動③／10月19日
場 所／フットサルコートキャプテン翼スタジアム(神奈川県横浜市)
人 数／66名
活動内容／チャリティーフットサル大会を開催。
参加仏青…高野山真言宗神奈川青年教師会・埼玉・群馬・茨城・南総・北総・東京・栃木・神奈川【募金額543,030円】
【寄託先】あしなが育英会 東日本大地震・津波遺児のための窓口



東京

活動①／4月14日
場 所／福島県いわき市小名浜
人 数／10名
活動内容／津波被害家屋の泥かき・床はがし

活動②／5月25日
場 所／福島県いわき市永崎
人 数／10名
活動内容／津波被害耕地の泥かき

活動③／6月7日
場 所／福島県いわき市久之浜
人 数／12名
活動内容／畑のヘドロ・ゴミの撤去・津波ゴミの分別



東日本大震災
各教区復興支援活動



これらの団体の方々の話を聞いて、いかに自分が被災者の方々に対し、何も出来ていなかった事、また自分の無力さと言うものを痛

この度、天台仏教青年中央研修会におきまして、五つの講演・講義が行われました。日本赤十字社滋賀県支部の方々による『災害時の心のケア』に始まり、AMDAの方による『東日本大震災復興支援活動』そして『天台宗の人権啓発の取り組みについて』『宗教法人の運営について』『天台宗災害補償制度について』といずれも今後の生活及び、法務を行っていく上で大変役に立つ講演・講義でした。特に昨年は大きな震災が起った年でもあり、震災関連の二つの講演が印象に残りました。



感じさせられると共に、自分の災害への備えの甘さをも知ることが出来ました。今後は、今回の諸団体の講演を生かし「助け合って日本」をモットーに、助け合いの精神を持って、日々過ごしたいと思っております。最後になりましたが、この度東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。



この集いは、毎年八月に行われる、全国の小学六年から中学三年までを対象とした研修です。研修生は比叡山という環境で、止観、発心会、平和の祈りの集い、三塔巡拝、キャンプファイアーなどを体験します。研修の指導を担当するのは、仏青のメンバーを中心とした七十人の若いリーダー達です。昨年は被災地の教区からも十数名の研修生を迎えることができました。全体としては「絆」をテーマとし、生かされていることへの感謝、協力することの

大切なことを伝えることを心がけました。研修生もリーダーも修了式では涙を浮かべ、別れを惜しんでいました。研修生に素晴らしい感動を与えたいと思つて様々な企画を実践していますが、実は指導者であるリーダー達の方が、はるかに学び、感動することが多いのかもしれないと毎回感じています。百聞は一見にしかず。どうか、仏青会員の皆さんも私たちと共に青少年比叡山の集いに参加し、この体験を共有してみませんか。

寺院用品販売 大和商会 代表 宮崎忠昭 〒340-0005 埼玉県草加市中根1-12-15 電話 048-931-7354 (FAX兼)	御本山御用達 京 表 具 法悦庵 古文化財保存修理研究所 矢口浩悦庵 本社・工房 京都市上京区衣帯通り丸太町上る東側 TEL(075)254-6021 FAX 254-6022 http://www.koetsuan.com	沈香 白檀 各種焼香 本舖 法要・行事等 記念品「香」受け贈ります 総本山 延暦寺御用達 風間薫芳堂 〒607-8454 京都市山科区厨子奥高代元町21-8 電話 075-591-0121 FAX 075-581-5760
--	--	---

東日本大震災復興支援特別委員会

【東日本大震災復興支援・義援金報告】

東日本大震災復興支援のため各教区仏青・各寺院・諸団体より下記の通りのご協力がありました。

支援金・活動支援金・義援金、合計2,150,352円。誠に有難うございました。

今後とも、この震災を風化させることなくご協力のほどよろしくお願い致します。

※上記の金額は平成24年1月27日現在です。



全日本仏教青年会主催、東大寺南都二六会共催の「仏法興隆花まつり千僧法要―東日本大震災復興祈願―」が奈良東大寺を会場に執り行われました。天台仏教青年連盟より一〇一名が参加し、全体総人数では三〇〇名を超える参加者によって厳修されました。

台雅楽会（群馬仏青有志）が奏でる雅楽の優雅な調べが法要に花を添えました。大仏殿では大般若転読、般若心経、観音経読誦が執り行われ、天台宗は声明・散華を担当、散華師には本山仏青大岡永周師（本山仏青会長）が務めました。アショカピラー（宝塔）前でも東日本大震災復興祈願法要を行い、参道にて花の種などを参詣者へ配布しました。



仏法興隆花まつり千僧法要

（平成二十三年四月二十六日火）

群馬仏青 濱田 孝暁
奈良東大寺大仏殿にて

天台宗専門法衣司 山科大西法衣店 〒607-8357 京都市山科区西野樺川545-21 電話 (075) 591-9159 FAX (075) 502-5418 0120-568-024	空風火水地 品質第一をテーマに、自然と調和を大切にした製品作りに励んでいます。 営業品目 平造 内造 組木造 ぐま 各種あり 塔婆製造販売 (株)協和木工所 東京都西多摩郡日の出町平井1216 TEL. 0425-97-0733 FAX. 0425-97-1818	三法堂 京都府京都市中京区 KAMIGASAKI-KOJI KAMIGASAKI-KOJI KAMIGASAKI-KOJI 最清の京仏壇
---	---	---

天台宗 務 庁		天台仏教青年連盟	
阿 純 孝 天台宗宗務総長		協賛金協力者ご芳名 (敬称略)	
総務部長 杜 多 道 雄		皆様の絶大なる御支援に心より御礼申し上げます。	
法人部長 山 田 亮 清			
財務部長 阿 部 昌 宏			
教学部長 齊 藤 圓 眞			
社会部長 村 上 圓 竜			
一隅を照らす運動総本部長 福 恵 善 高			
宗 議 会 議 員 (寺籍簿順)		埼玉教区 泉福寺 清 水 英 雄	
京都教区 方廣寺 木ノ下 寂 俊		群馬教区 光巖寺 田 中 祥 順	
北陸教区 薬王寺 青 木 大 瑩		福島教区 金礼寺 林 光 俊	
信越教区 光前寺 吉 澤 道 人		陸奥教区 観音寺 鮎 貝 宗 城	
近畿教区 本山寺 百 濟 寂 仁		山形教区 寶光院 工 藤 秀 和	
岡山教区 明王院 吉 山 亮 公		四国教区 大通寺 大 西 崇 光	
東京教区 福聚院 北 岡 守 興		三岐教区 常住寺 森 喜 良	
栃木教区 光樹院 柴 田 立 史		東海教区 成願寺 中 村 廣 文	
南総教区 親明寺 細 野 舜 海		北陸教区 帆山寺 天 谷 良 永	
四国教区 行泉寺 柞 原 俊 孝			

平成24年度 陸奥結集のご案内
平成24年9月6日 仙台市

来る平成24年9月6日、宮城県仙台市にて『忘己利他』～人と人 そして心と心～をテーマに「陸奥結集」を開催することとなりました。

平成23年3月11日に東日本を襲った未曾有の大震災により東北の地も沿岸部を中心に壊滅的な被害を受けました。この震災を乗り越え復興に向かうこの地に天台僧が集い、震災の犠牲者の追悼、そして早期復興を祈願する場としたいと考えております。

今回「陸奥結集」を開催するにあたり震災犠牲者の慰霊法要を行うと共に、天台宗の根本經典である『法華経』を全国の仏青会員の御協力のもと被災地の早期復興を願意として写経し、被災寺院の代表として宮城県気仙沼市観音寺様（鮎貝宗城御住職）に奉納させていただく予定です。

また、平成25年度は慈覚大師の1150年の御遠忌にあたり、中尊寺・毛越寺・立石寺をはじめとする東北の数多くの寺院に法灯を掲げた慈覚大師の業績を再確認する場にしたいとも考えております。

震災からの復興へ向け着実に一步を踏み出したこの東北の地に多くの方がお越し下さいますよう、御案内申し上げます。〈陸奥仏青事務局 太田義法〉

天台仏青連盟新ホームページ
のお知らせ

http://www.t-y-b-a.com/

昨年度、リニューアルしました天台仏青連盟HP。仏青会員の皆さまには、東日本大震災の災害復興支援活動の予定・報告はもとより、各教区仏青様の活動報告、その他のご案内や連絡等にご活用頂ければと思います。

情報通信委員会では、当HPの閲覧が皆さまの日課となり、仏青活動に不可欠なツールとなることを目指しております。当HPに関するご意見、ご要望がございましたら、遠慮なくお申し出ください。

〈情報通信委員会〉



第34回 東日本仏青親睦野球大会
群馬大会のお知らせ

【大会日程】
平成24年5月24日(木)～25日(金・友引)
〈1泊2日〉
★野球大会開会式…24日 10:30～

【大会会場】敷島緑地河川敷グラウンド
(群馬県前橋市敷島町66)

【懇親会会場・宿泊ホテル】
伊香保温泉 ホテル天坊
(群馬県渋川市伊香保町396-20)

★群馬大会においては、過去の日程とは異なり、初日に【親睦野球大会】を行い、夜には懇親会を企画しております。野球を先に行うことで親睦を深め、懇親会では今まで以上に忌憚ない意見交換や教区を越えた交流を深めることが出来ると考え企画させていただきました。

【問い合わせ】
群馬天台青年会事務局

平成23年度 救援募金のご報告

●新潟県豪雨災害	合計 110,000円
●福島県豪雨災害	合計 110,000円
●台風12号(三重県)	合計 165,000円
●台風12号(和歌山県)	合計 175,000円
●台風12号(奈良県)	合計 165,000円
●タイ洪水	合計 30,000円
●東日本大震災	合計 109,526円
●連盟地球救援募金	合計 378,056円
合計	1,242,582円

ご協力いただきました各仏青様に感謝いたします。
今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

〈救援委員会〉

※上記の救援募金は平成24年1月27日現在です。

茨城教区 佛性寺 山田純永		茨城教区 西福寺		茨城教区 福性院 寺門俊明		茨城教区 萬福寺 熊岡明然		茨城教区 藥王院 竹林史典		群馬教区 華藏院 飯塚賢祥	
茨城教区 天台 仙教青年会		茨城教区 天台 青年会		陸奥教区 東雲寺 山田清隆		栃木教区 東明寺 三上亮順		栃木教区 長楽寺 高木暢順		栃木教区 照尊院 菅原道信	
陸奥教区 39 法泉寺		栃木教区 105 東光院		茨城教区 82 清瀧寺		南総教区 203 聖徳寺		南総教区 151 般若寺		信越教区 102 不動寺	
東海教区 103 観音寺		三岐教区 22 新善光寺		岡山教区 5 浄土寺		滋賀教区 69 浄福寺					
天台仙教青年連盟		代表 高倉聖法		副代表 佐藤正寛		副代表 井藤圭順		事務局次長・渉外 長道圓俊		事務局次長・法務 鈴木大和	
事務局次長・庶務 横山大山		事務局次長・会計 谷晃仁		会計監査 溝江光宣		会計監査 山形宗湛					
布教広報委員		委員長 久保寺福美		副委員長 濱田孝暁		副委員長 真下俊宜		隈井修道		中村隆広	
青木大樹		長道圓俊		横山大山							

誤記等がございましたらご容赦くださいますようお願い申し上げます。
平成24年1月末日現在、ご協賛頂きました方を掲載しております。

華頂庵 寺院莊嚴具・京仏壇・京仏具・法衣・装束・打敷 安藤 株式會社 本社 〒605-0061 京都府東山区西門町通瓦町小路東入五 TEL 0120-29-6161 (法衣部) TEL 0120-29-6165 (仏具部) TEL 0120-19-6168 (装束品部) 東京店 〒105-0014 東京都港区芝2丁目15番2 TEL 0120-3232-09 福岡店 〒812-0036 福岡市博多区上岡町12-7 TEL 0120-2143-22	親本山延暦寺 御用達 中末法衣店 〒606-8287 京都市左京区北白川上池田町12-1 TEL 075-723-8865 FAX 075-723-8867	井筒法衣店 代表取締役社長 幾田 潤 〒600-8503 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前) 電話 075-365-0001(代) FAX 075-353-7021 東京店／東京都新宿区三栄町11-6 電話 03-3358-1500(代表)
--	--	---

神奈川教区 妙樂寺	溝江光運	東京教区 法藏院	杜多徳雄	南総教区 妙音寺	浅野玄航	埼玉教区 福正寺	木本清玄	群馬教区 西光寺	谷晃昭	山形教区 大圓院	清原正田
安楽律法流貫首 興雲院	中川光熹	宗内御寺院・団体 (寺籍簿順) 5口以上ご協賛の方		延暦寺一山 明德院	中山玄童	延暦寺一山 善学院	瀧口宥誠	延暦寺一山 真蔵院	森川宏映	近畿教区 月照寺	久野良廣
九州東教区 臨濟寺	秦順照			九州西教区 釈迦院	守光山	九州西教区 二階寺	吉田竜晃	三岐教区 華嚴寺	久保寺美好	東海教区 蓮華寺	高木善立
東海教区 明光院	酒井妙照	信越教区 常樂寺	半田孝章	信越教区 座光如來寺	本多秀賢	信越教区 常住院	内田道樹	信越教区 観音寺	大谷法禅	神奈川教区 円満寺	西郊良光
神奈川教区 龍門寺	永井良祐	東京教区 延命寺	宮崎光通	東京教区 龍眼寺	市原孝信	東京教区 観音寺	本多賢真	東京教区 養玉院	遠賀庸達	東京教区 圓住院	加納崇有
北総教区 證明寺	郡司弘道	南総教区 笠森寺	小川長宏	埼玉教区 慈星院	松波良晃	埼玉教区 最明寺	千田亮澄	埼玉教区 高藏寺	吉田亮照	群馬教区 林倉寺	西林乘仁

結集研修委員会

委員長(九州西) 一番ヶ瀬順海

— 担当 —
本山・九州西・岡山
東京・埼玉・陸奥

結集研修委員会では例年通り地方開催における結集の取り組み方や問題点などについて協議を行っております。また中央研修会のテーマ、講師の選定等を審議し担当の社会部と折衝を重ねております。特に本年度は東日本大震災からの復興支援に重点を置き全国仏青連盟としての事業や各地方での色々な活動にいかにして役立てるかを検討してきました。

そして来年度平成二十四年九月に予定しております陸奥結集でございますが、被災地での開催という大変な困難を乗り越え、復興への原動力となるべき大いなる一歩にしよう、東北三県にまたがる仏青が一致団結して結集開催の準備に取り組んでいる次第です。

災後復興と結集の企画運営の両立には担当教区の並々ならぬご尽力を必要と致します。全国仏青の皆様におかれましては益々のご理解ご協力をお願い申し上げます。

救援委員会

委員長(兵庫) 小泉即圓

— 担当 —
京都・近畿・兵庫・信越
南総・栃木・福島・北海道

起こりうる自然災害においては為す術もないのが現実です。国内に於いては、東日本大震災を筆頭に各所各地域において大雨被害が続出し、昨年度に引き続き天災の多い一年でありました。国外に目を向けてもタイの洪水被害、トルコの大地震など、多くの被害、死者・行方不明者が出るなど生命の尊さをより一層感じた一年でもありました。

今年度の救援委員会では、三月十一日に発生した東日本大震災の救援活動を主に、広く会員に呼びかけ、被災地の情報収集、救援活動、心のケアを全国の会員皆様と共にこなすまいりました。また、全国各所で起きた自然災害での救援募金のお願いをしたところ、快くご協力いただきました事、感謝申し上げます。我々青年僧侶の持ち味は、行動力だと思います。その行動力を活かして今後も活動をおこなすまいりたいと思います。今後ともご協力お願い致します。

情報通信委員会

委員長(神奈川) 本間孝継

— 担当 —
滋賀・山陰・四国
神奈川・北総・山形

今年度より、名称を「情報通信委員会」と変更して活動することになりました。

昨年、HPを刷新しましたことはご存知かと思えます。ただ利用状況をみますと、まだ十分に活用されていないのが現状のようです。そんな中、全国の仏青会員による東日本大震災の復興・支援活動報告を公開するという試みは、今後の活動の指針になるといえるかもしれません。

この原稿を執筆中も、その報告数は増え、現在二五八件。連盟や各仏青が発信する情報から、今どんな活動が必要か、被災者の最新の需要は何か等を察知でき、有益だったという声が少なからず寄せられているからです。

多くの人が瞬時に同じ情報を共有できる。このネットの強みを活かせるよう、HPの周知を徹底し、更なる内容充実に努めて参りたいと考えております。

布教広報委員会

委員長(三岐) 久保寺福美

— 担当 —
九州東・三岐・東海
北陸・群馬・茨城

布教広報委員会では、本紙「天台佛青連」の編集発行を中心に天台仏教青年連盟をはじめ各教区仏教青年会の活動内容を仏青会員はもとより、広く宗内外に伝える取り組みをしております。

本号では昨年起きた東日本大震災でのボランティア活動や支援活動を主に紙面を組ませていただきました。特に見開きの頁では、全国の教区仏青様にお問い合わせして、それぞれの活動内容の様子をお伝えいただき、より多くの活動をお伝え出来る様に努めました。

本年度は役員の改選で当委員会も新しい顔ぶれとなり、一からのスタートで様々な苦労もありましたが、諸先輩方からの温かいご支援等もあり、無事発行に至る事が出来ました。この場をお借りして御礼申し上げます。

今後ともより良い委員会活動に励んでいきたいと思っておりますので、皆様方の一層のご意見ご協力ををお願い申し上げます。

編集後記

今回の会報は例年の連盟行事を始め、昨年発生した東日本大震災のボランティア活動を中心に掲載致しました。各教区仏青で沢山活動をしていきますが、なかでも被災教区仏青・本山仏青・過去被災経験仏青の活動の記事を掲載させて頂きました。

本年度からは久保寺委員長の下、新しい編集委員会となりました。委員長以外は編集未経験者の新メンバーで、春の代議員会では特例で副委員長二名とさせて頂くハブニングもありましたが、前正副委員長より引き継がれた事を基に試行錯誤しながら編集会議を重ねて、この度の本誌発行となりました。

いかがでしょうか？

今後も諸先輩方のご意見を頂きながら今回ご縁のあった委員会一同でより良い会報を作りあげていきたいと考えております。

最後に委員会の皆様お疲れ様でした。今後ともよろしくお願い申し上げます。

布教広報委員一同